

2016（平成28）年度 事業計画

社会福祉法人山鳩会
みどりの森

1. 理念・方針

（1）法人理念

①障がいがある人に…

自分の持っている力を発揮しながら、普通の生活を営み、自らが社会に価値のあるものである事に気づき、自己実現していけるよう支援する。

②障がいがある人の家族に…

障がいがある人への思いを受け止め、それを実現していく。

③援助者には…

障がいがある人と共に歩みつつ、自己実現を図るために必要なサービスを提供し、常に向上的である人材に育てる。

④地域の方に…

共に生きていく環境を実現するために、お互いにメリットのある関わりを築いていく。

（2）コンセプト

地域のニーズを取り入れた生産活動を行いながら、地域の活動に参加し、施設利用者の理解に繋がるよう啓発していく。

（3）基本方針

①地域の方々と交流できる行事等を開催して施設に関わる層を拡げると共に、地域の行事にもいろいろな形で参加し、良好な関係作りを進めていきます。

②自主生産を導入し、生産活動の充実を図ります。

③継続して通所できるよう、健康の維持・増進と病気の早期発見に努めます。

④関係機関との情報交換を積極的に行い、支援の充実と組織強化に努めます。

⑤第三者評価を実施して事業に反映し、より良いサービスを提供します。

2. 施設概要

（1）施設種別 指定障害福祉サービス事業（就労継続支援B型）

（2）利用定員 31名（現利用者数：36名）

（3）開所年月 平成21年4月

（4）施設規模 敷地面積

延床面積 178.86㎡

建物構造 鉄骨造（地上2階1階使用）

賃貸区分 （土地）民間賃貸 （建物）民間賃貸

3. 職員構成

(1) 雇用契約あり

職 種	配置人数
管理者	1名
サービス管理責任者	1名（兼務）
支援員（常勤職員）	4名
保育士（常勤職員）	0名
調理員（常勤職員）	0名
事務員（非常勤職員）	1名
支援員（非常勤職員）	5名
保育士（非常勤職員）	0名
調理員（非常勤職員）	3名（1名兼務）
看護師（非常勤職員）	0名
理学療法士（非常勤職員）	0名
作業療法士（非常勤職員）	0名
合 計	14名

(2) 嘱託

医師（4回／年）	1名
看護師（0回／年）	0名
理学療法士（4回／年）	1名
作業療法士（0回／月）	0名
合 計	2名

4. 利用者状況

(1) 障害程度

	1度	2度	3度	4度	未定	合計
愛の手帳	1名	13名	16名	6名	0名	36名
身障手帳	1名	2名	0名	1名	0名	4名
精神保健手帳	0名	0名	0名	0名	0名	0名

※身障手帳と重複

(2) 年齢構成（平均年齢 32.5歳）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	2名	11名	4名	7名	1名	0名	25名
女	1名	4名	4名	1名	0名	1名	11名
合計	3名	15名	8名	8名	1名	1名	36名

最低年齢 男…19歳 女…19歳 最高年齢 男…59歳 女…74歳

平均年齢 男…32.2歳 女…33.1歳

(3) 担当福祉事務所

東村山市	清瀬市	杉並区	合計
34名	1名	1名	36名

(4) 障害程度区分

区分	1	2	3	4	5	6	未定	合計
人数	0名	1名	3名	6名	3名	0名	23名	36名

5. 日課

(1) 月～金曜日

時間	内容
8:30～9:00	朝礼・ウォーキング・ストレッチ
9:00～12:00	作業
12:00～13:00	昼食・昼休み
13:00～15:30	作業
15:30～15:45	清掃
15:45～16:00	終礼・帰宅

(2) 土曜日

8:30～9:00	朝礼・ストレッチ
9:00～11:20	作業
11:20～11:30	作業片付け
11:30～12:00	昼食・終礼・帰宅

※状況により変更あり

6. 重点目標

(1) 地域住民と交流できる場面を活用し、地域との良好な関係を築く。

- ① 諏訪町運動会・Tボール大会・白十字フリーマーケット・ふれあいカーニバルなど、地域や自治会主催の行事に積極的に参加する。
- ② 地域参加の形を拓げ、行事に参加するだけでなく地域のサークルと連携するなど、いろいろな形を模索していく。
- ③ 施設を知って頂くため、みどりの森新聞を適宜発行する。又、掲示板を活用し情報を発信していく。
- ④ 地域の関係団体の層を拓げ、相互に利益のある関係を築く。

(2) 健康・衛生

- ① 定期健康診断・歯科検診・感染症予防注射・歯磨き指導・体重血圧測定その他、婦人科検診と耳鼻科検診を行い、病気の早期発見に努めて家庭と情報を共有し、必要に応じて医療につなげる。

- ②出勤後、作業開始前に利用者の個々の状態に合わせ、地域周辺をウォーキングする。
- ③毎月一回、第3火曜日を、スポーツの日として体を動かす。
- ④必要な人には理学療法士による個々のプログラムを実施するなど、身体機能の維持向上を図る。
- ⑤ノロウイルス等の感染症予防のため、定期的に消毒し衛生環境を整える。

(3) 家庭・地域生活

- ①社会生活を送る上で必要な情報や社会資源の活用方法を継続的に提供し、必要に応じて他機関につなげるなど連携していく。
- ②利用者個々のニーズに即して継続して通所できるよう、家族の声を聞きながらサービスに反映していく。

(4) 作業・就労活動

①作業種目

作業種目	内 容
受託事業	DM封入・シール貼り・パスタ商品包装・箱折り・菓子箱組み立て・DVDボックス組み立て他
清掃事業	都立中央公園の清掃、白十字ホーム除草作業
回収等事業	古紙・資源回収・リサイクル品回収
その他	ミニバザー、情報誌配布、出向（梱包）
パート・アルバイト	あゆみの家

- ②焼き菓子を自主生産品として取り入れ、作業種として安定できるようマフィンを始めとした商品開発を行う。
- ③特性や希望を取り入れ作業種を設定し、作業能力を伸ばし、働く喜びを感じとれるように支援する。
- ④業者との安定した関係を継続し、工賃収入が安定できるようにする。
- ⑤ニーズに応じて短時間雇用の開拓・支援（フォロー）を行なう。

(5) 給食

- ①嗜好調査や自治会で出た意見をメニューに反映すると共に、新しいメニューも提案していく。
- ②季節に合わせて装飾や演出を工夫し、楽しめる要素を取り入れると共に現状を見直して「食べる」環境を改善する。
- ③自分たちで栽培した野菜を給食に取り入れ、季節感を味わう。

④栄養基準量（一人当たりの栄養基準量）

熱量	蛋白質	炭水化物	脂肪	カルシウム	ビタミン		
					B1	B2	C
784	21.3	451	20.9	263	0.49	0.55	38
Kal	g	g	g	mg	mg	mg	mg

(6) 自治会活動

- ①利用者が日々感じていることを発信する場を提供し、要望などを具体化するための支援を行う。(宿泊旅行、グループ別外出等の行事や施設内活動の問題点の改善等)

(7) 行事

①クラブ活動（隔月実施）

種目	主な活動場所	実施予定日
絵画工作	みどりの森食堂	第3金曜日
カラオケ	シダックス	第3金曜日
音楽	みどりの森作業室	第3金曜日
ダンス	自治会館・集会所・福祉センター等	第3金曜日

②年間行事予定

	内 容
4月	入所式・歓迎花見会
5月	日帰りバス旅行
6月	諏訪町Tボール大会
7月	宿泊旅行
8月	暑気払い・夏期休暇
9月	バザー・諏訪町運動会
10月	白十字ホームフリーマット（音楽交流会）
11月	運動会
12月	仕事納め親睦会・冬期休暇
1月	成人を祝う会・施設まつり（冬まつり）
2月	防災館体験
3月	納会

※一人1回 グループ別外出

7. 防災訓練

(1) 防災

- ①災害時の利用者の安全を図るため、防災計画を見直し、それに基づき月1回防災訓練、

年1回防災館での防災体験を実施する。また自衛消防効果訓練に参加して有事に備えて意識付けを行う。

②災害時に備えて備蓄品、防災設備の見直し・充実を図る。

(2) リスクマネジメント

①事故対応マニュアルを施設内に掲示すると共にワゴン車・トラックにも常備し、緊急時に対応できるよう努める。

②施設内のリスク軽減のため、作業後に毎日整理整頓を実施する。

③リスクマネジメントに関し職員間で情報共有し定期的にヒヤリハットの再確認を行なう。

8. 地域との交流

①地域の資源回収・ミニバザー・ミニミニバザー・ウォーキングなど、日常的な挨拶、声掛けを心がけ、良好な関係を築く。

②地域の行事に積極的に参加していく。(諏訪町運動会・ふれあいカーニバル・白十字フリーマーケット等)

③地域の環境美化に自主的に取り組み地域貢献する。

④掲示板や便りなど、施設理解に繋げるための情報を発信し、また交流する機会を作る。

⑤地域の農家の方に指導を仰ぎながら農作物の収穫実習を行い、頂いた野菜を給食に利用し、楽しみながら地産地消に努める。

9. 実習生の受け入れ

(1) 地域の特別支援学校・在宅者の受け入れを行う。

卒後の施設入所に向けた実習を受け入れ、体験により将来の進路選択に繋がる機会を提供する。(夏休みなどを利用した任意実習を含む)

(2) 大学や福祉養成機関からの実習を受け入れる。

学生を受け入れ充実した実習を提供する事で、将来福祉の現場で活躍する人材を増やすよう努める。

10. 父母会、親の会との連携

(1) 父母会

①保護者会を開き、施設に対する理解や協力体制が取れるようにする。

②家族参加行事や個別面談等を通して信頼関係を構築し、より良いコミュニケーションが図れるよう努める。

③施設便りを月一回発行し、施設での日常の様子を伝えていく。また法人の広報紙・HP等を活用し、外部の人にも活動を知って頂けるよう努める。

④よりよい支援を実施するため(健康面の管理も含め)家庭と情報交換を密に行なう。

(2) 親の会

山鳩会行事部会を中心に双方の連携を図り行事等を円滑に進めていく

1 1. 職員研修

- ①福祉職員としての専門分野の知識や技術を習得すると共に、社会人として習得すべき情報や知識が得られる専門外の研修も行なう。
- ②S Tを招いて言語訓練に関する知識を学び、支援に活かす。
- ③法人研修部会を中心に全体で研修を行い、施設職員の知識向上・問題解決にあたる。

1 2. 会議予定

種 目	回 数	内 容
職員会議・作業・生活会議・ リスクマネジメント会議	1回/月	定例会議
給食会議	1回/月	献立・給食に関する検討
ケース会議	3回/月	利用者の処遇改善に向け検討
評価・アセスメント会議	2回/年	各場面の課題について検討、周知

1 3. 苦情解決、個人情報保護、権利擁護、セクシャルハラスメント防止

(1) 苦情解決

- ①規定に基づき、問題が発生した場合は親切丁寧迅速に対応し問題解決にあたる。
- ②第三者委員を設置し対応に当たる。

(2) 個人情報保護

規定・個人情報提供同意書に基づき、個人の情報を提供する際は慎重に取り扱い、データの管理を適切且つ安全に行う。

(3) 権利擁護

担当者を設置し利用者の人権を守り、利用者の主体性を尊重した支援を行う。

	氏 名
責任者	真崎ひろみ
担当者	大久保 亜弓

(4) セクシャルハラスメント防止

施設内に男女各1名ずつ担当者を設け、防止・対応に当たる。

苦情解決

	氏 名
責任者	真崎 ひろみ
担当者	牛越 拓生
第三者委員	赤木 ふき子

セクシャルハラスメント

	氏 名
責任者	真崎 ひろみ
担当者(男性)	大竹 正史
担当者(女性)	柳葉 ひかり

